

様式第1（第15条関係）

会 議 録

会議の名称	平成28年度第4回和泉市市民活動支援制度判定会
開催日時	平成29年2月2日（木） 午前9時30分から10時30分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター 1階 小集会室
出席者	湯川副会長、青山委員、笠井委員、森吉委員 事務局（着本課長、山本総括主幹、小林主事）
会議の議題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長及び副会長の選出 ・ 支援対象団体の実績報告にかかる審査について
会議の要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 市長挨拶 3. 委嘱状交付 4. 会長・副会長の選出 5. 支援対象団体の実績報告にかかる審査 6. その他・事務連絡
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項（会議の公開・非公開、傍聴人数等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の形式：公開 ・ 傍聴人：0人 ・ 議事録の公開：有り

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

【司会】

それでは、ただ今より平成28年度第4回和泉市市民活動支援制度判定会を開催させていただきます。私、本日の司会を務めさせていただきます市長公室公民協働推進室の山本です。よろしく願いいたします。本日はご審議いただく前に、本判定会委員としての皆様の任期が1月25日で満了となっておりますことから、まず、市長から皆様に本判定会委員の委嘱状を交付させていただきます。その後、支援対象団体の実績報告にかかる審査をお願いしたいと思います。

それでは、次第2に移らせていただきます。

開催にあたりまして、辻宏康和泉市長よりご挨拶申し上げます。

【市長】

本日は、公私お忙しい中にもかかわらず、和泉市市民活動支援制度判定会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様に委員へのご就任をお願いしましたところ、ご快諾を賜りましたことに対しまして、重ねてお礼申し上げます。

さて、平成22年10月にはじまった和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業は、和泉市自治基本条例の理念の1つである市民相互の協働によるまちづくりを進めるための事業でございます。この制度は、市民の一人・一人の選択届出により補助金額が決定するという制度であり、市民が直接、補助金の交付について審査する機会を設けることによりまして、市民の理解・支援を得るため、補助金を受ける側の市民活動団体は、直接市民に向けて、より積極的に情報公開等を行っていくことが求められることとなり、これにより、市民が市民活動に対する理解や関心を深めることで市民活動団体の活性化を図ることを目的としております。団体紹介冊子作成費等、予算が非常にかかる側面もありますが、それも市民の活動を知っていただくツールとしてわれわれは捉えております。今回7回目ということで、参加団体が増えたという成果もあがっており、喜ばしく思っております。更に多くの方々に取り組みを広げてまいりたいと考えておりますので、判定委員の皆様におかれましては、大変お世話をおかけしますが、変わらぬご指導、ご尽力賜りますようお願いいたします。

【司会】

ありがとうございました。

続きまして、次第3、辻市長より皆様に委嘱状及び辞令の交付をいたします。

（委嘱状・辞令交付）

ありがとうございました。それでは、あらためまして委員のみなさまをご紹介させていただきます。

特定非営利活動法人SEIN代表理事の湯川委員でございます。

岸和田市社会福祉協議会の青山委員でございます。

税理士の笠井委員でございます。

和泉市市長公室 公室長の森吉委員でございます。

よろしく願いいたします。

なお、本日黒田委員におかれましては、所用により欠席となっておりますのでご報告

させていただきます。

また、誠に失礼とは存じ上げますが、市長につきましては、他の公務のためここで退出とさせていただきます。

(市長退席)

それでは続きまして、次第4、会長・副会長の選出に移らせていただきます。

会長・副会長については、本来であれば、委員の皆様にご互選していただくこととなっておりますが、事務局からの提案といたしまして、引き続き、会長に黒田委員、副会長に湯川委員はいかがでしょうか。なお、本日欠席されています黒田委員につきましては、本日のご提案内容について承諾を得ております。

(異議なしの声)

異議なしの声がありましたので、委員の皆様のご意見として、再度、意思確認をさせていただきますと思いますので、拍手をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございます。会長に黒田委員、副会長に湯川委員の就任をお願いしたいと思っております。それでは、就任にあたり、副会長である湯川委員にご挨拶を賜りたいと思っております。湯川副会長、よろしくをお願いいたします。

【副会長】

副会長に就任いたしました湯川です。よろしくお願いいたします。先ほど市長のお話にもありましたが、平成22年度から7年目にはいったということで、エントリー数は増えてきていますが、課題も沢山あります。例えば、イベント系の活動団体には票が集まりやすいです。しかし、そうでない団体に対しては、活動内容が地域の人にこういう活動をしてもらいたいというものであっても、票が集まりにくい場合もあり、そういう団体をどう支えていくのかというのも課題のひとつです。エントリー数の増加など一定の成果もあがっていますが、このような、抜け落ちてしまっている課題も拾いながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【司会】

ありがとうございました。

それでは、次第5、支援対象団体の実績にかかる審査に移らせていただきますが、審査に入る前に会議資料の確認及び会議の流れを説明させていただきます。まず、判定会次第、資料1、資料2、資料3、資料4、不足資料等ございましたら、挙手いただきますようお願いいたします。ないようでございますので、以後の流れを説明させていただきます。

まず、次第5といたしまして、今回実績報告がありました5団体について、事務局より説明させていただき、審査・判定をしていただきます。

次に次第6、その他として、今後のスケジュール等についてご報告させていただきます。以上でございます。

それでは、以後の進行について副会長よろしくお願いいたします。

【副会長】

会議に入ります前に、和泉市助成審査委員会規則第6条第2項の規定によりまして、会議の開催要件であります、委員の過半数の出席があると認め、本日の議事を進めさせていただきます。

それでは、次第2の申請団体の実績報告にかかる審査を行います。申請のあった団体について事務局、一括で説明をお願いします。

【事務局】

公民協働推進室の小林でございます。平成28年度の支援対象団体からの実績報告についてご説明申し上げます。

まず、団体番号2 ミータスコア・グループ未来でございます。

事業の内容といたしましては、「宮崎剛の「第九」ファミリーコンサート2016」を実施しており、2008年までは文化協会主催により実施されておりました「第九」演奏会がなくなってしまうことから「市民自身の手による市民のための「第九」」を和泉市に根付かせ、この「第九」をきっかけに、クラシック音楽の楽しさを味わっていただく場づくりと和泉市の文化芸術風土の更なる醸成を目的に事業を実施されました。本事業の成果といたしましては、老若男女問わない、市民の参加度の高い形での演奏会を実施することにより、クラシック音楽の楽しさを味わうことができ、和泉市の文化芸術風土の醸成に貢献する事業となり、また、今後の課題といたしましては、更なる認知度アップのためのPR活動とともに音楽構成等の内容面の一層の充実を図っていくといった内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、当初提出のありました予算書の収入1,442,000円に対し決算書では、1,341,645円となっており、100,355円の収入減となっております。内容といたしましては、支援金が500,000円から249,059円と減額となり、しかし事業収入の合計が、予算時700,000円から決算時911,550円と増額されています。支援金の減額分を、事業収入でカバーしております。

次に支出の部でございますが、主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。まず、報償費につきまして、当初予算額716,000円に対し、決算額が750,000円となっており、概ね予算どおりに執行されています。次に消耗品費につきまして、予算額21,000円に対し、決算額は9,286円となっており、11,714円の減額となっております。減額の理由といたしましては、既存のものを使用により、購入費の削減を実現したことが主な要因でございます。次に食料費につきましては、当初予算額18,000円に対し、決算額が8,527円となっており9,473円の減額となっております。減額の理由といたしましては、単価を見直したことによるものです。次に印刷製本費につきましては、当初予算額110,000円に対し、決算額が38,800円となっており71,200円の減額となっております。減額の理由といたしましては、予算時はデザイン込みでプログラムの作成を印刷会社に依頼する予定だったところを、デザインを個人に依頼するよう変更したことによるものです。次に、役員費につきましては、当初予算額13,000円に対し、決算額が1,814円となっており、11,186円の減額となっております。減額の理由といたしましては、資料

のやりとりの回数を減らし、通信費を抑えたことによるものです。次に委託料につきましては、当初予算額67,000円に対し、決算額が46,100円となっており、概ね予算どおりに執行されています。さきほどの印刷製本費から、デザイン料がこちらに費目替えされていますが、司会等、団体内で行えるものは団体内で行うことにより、この金額に抑えています。最後に使用料・貸借料につきましては、合計で申し上げますが、当初予算額437,000円に対し、決算額422,060円となっており、概ね予算どおりに執行されています。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号3のぞみ野街づくり推進委員会でございます。

事業の内容といたしましては、地域において人間関係が希薄化することを防ぐことを目的とし、年齢差を越えた地域住民の交流の場を設けます。事業の成果といたしましては、模擬店やバザー等の出店、また歌や踊りを参加者が楽しみ、また歌や踊りに関しては出演者にとって発表の場ともなったとのこと。災害募金も行われ、ボランティアの啓発にもなりました。会場一体となって催しごとを楽しむことで交流も生まれ、活力ある町づくりのきっかけづくりになったといった内容の実績報告を提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

当初提出のありました予算書の収入2,500,000円に対し決算書では、2,393,238円となっており、概ね予算どおりに執行されています。

次に支出の部でございますが、まず、報償費につきまして、当初予算額800,000円に対し、決算額が586,850円となっており213,150円の減額となっております。減額の主な理由といたしましては、予算の都合上、出演者を減らしたことが主な要因でございます。次に旅費につきまして、予算時には計上のなかった項目ですが、決算額として21,480円計上されています。内容といたしましては、準備の移動等のためのスタッフの交通費であり、領収書を用意することが出来たため計上されています。次に消耗品費につきまして、当初予算額40,000円に対し、決算額が42,729円、また、食料費につきまして、当初予算額110,000円に対し、決算額が102,999円、また、印刷製本費につきまして、予算額180,000円に対し決算額168,000円、役務費10,000円に対し決算額6,462円、委託料につきまして予算額750,000円に対し決算額690,008円となっており、概ね予算どおりに執行されています。また、予算額に計上のなかった費目で、使用料及び貸借料として17,000円、原材料費として5,520円新たに計上されており、内容といたしましては、使用料及び貸借料に関しましては、桃山学院大学の貸館に当日運営本部を置いた為に発生した会館使用料であり、原材料費に関しましては、会場案内のための掲示板作成費となっております。円滑な運営のための必要経費と判断しております。また、対象外経費の合計といたしまして、予算額610,000円に対し、決算額752,190円となっており、概ね予算どおりに計上されております。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書

類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号4 和泉だんじり大連合青年部でございます。事業の内容といたしましては、地域コミュニティの衰退によるだんじり祭りを含むコミュニティ活動の担い手の減少を危ぶむ声や、また、観覧客に対する十分な安全対策の必要性を訴える声が年々高まるなか、祭りのPR活動や祭礼時の安全対策、また清掃活動等の事業を行うことで地域コミュニティの醸成やだんじり祭りの継承を行うことを目的に事業を実施いたしました。事業の成果といたしましては、10月9日に和泉府中駅周辺にて18町会のだんじりによるパレードが開催されており、その際に高齢者や障がい者の方々がだんじり祭りを楽しめるよう、観覧席を設置し、また、地域活動の担い手を増やすためにだんじり祭りのPRを行ったり、観客が安全にだんじり祭りを楽しめるよう綿密な事前準備やボランティアによる警備員やAEDなどの配備により安全対策を実施したことによって、観覧客を巻き込んだ事故等は一切なく、だんじりを介しての地域コミュニティの醸成と伝統文化の継承、地域の活性化を図ることができたといった内容の実績報告が提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、当初予算額の収入1,773,000円に対し決算書では、1,907,296円となっており、ほぼ予算どおりに執行されています。

次に支出の部をご説明させていただきます。主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。まず消耗品費につきまして、当初予算額500,000円に対し、決算額が540,760円となっており、また、印刷製本費につきましては、当初予算額288,000円に対し決算額340,500円となっております。年々観客が増加していることを受け、観客に配る携帯灰皿や招待券などを増加させたことにより、若干の増額はありますが、概ね予算どおりとなっております。次に、貸借料につきましては、当初予算額460,000円に対し、決算額444,744円となっており、概ね予算どおりに執行されています。次に、使用料につきましては、当初予算額50,000円に対し決算額26,971円となっており、23,029円の減額、また役務費につきましては、当初予算額25,000円に対し、決算額15,540円と、9,460円の減額となっております。減額の理由といたしましては、レンタカーによる荷物の運搬や、ゴミ処理などを、だんじりの別組織が請け負い、その分の支出がなくなった為となっております。次に対象外経費の合計につきまして、当初予算額170,000円に対し、決算額261,221円となっており、91,221円の増額となっております。増額の理由といたしましては、今年度は市制60周年イベントの盛り上がりの影響で興味を持つ人が多く、参加者が増えたことにより会議の費用が増額されたことによるものです。

以上が、実績報告の主な内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号12NPO法人いずみ太鼓でございます。事業の内容といたしましては、「災害復興応援チャリティーイベント いずみの国弥生まつり」を実施しており、市民に災害に対する意識や知識、関心をもってもらい、災害に

強いまちづくりを進めることと、また、報道されない被災地の現状を風化させないため、多くの方に知ってもらうことを目的に事業を実施されました。事業の成果といたしましては、プロ・アマチュア問わない演奏者や被災地を応援する団体が和太鼓等を演奏し、愛知県の支援学校有志など、遠くからの参加もありました。NPO法人防災ネットワークや和泉市消防本部による講演や防災グッズについて学ぶ場も設けられ、和太鼓の演奏による盛り上がりのなか、市民に災害に対する意識を高めていただいたとのことです。続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

当初提出のありました予算書の収入1,397,600円に対し決算書では、1,197,052円となっております、概ね予算どおりに執行されております。

次に、支出の部でございますが、まず、報償費につきまして、当初予算額385,000円に対し、決算額が482,000円となっております、97,000円の増額となっております。増額の理由といたしましては、チラシやプログラムのデザイン料が増額したことによるものです。次に、役務費につきましては、当初予算額25,000円に他市、41,882円となっております、16,882円の増額となっております。増額の内容といたしましては、関係者への通知等の通信費が増額したことによるものです。次に、備品購入費につきましては、当初予算額40,000円に対し、決算額29,700円となっております、10,300円の減額となっております。減額の理由といたしましては、単価の見直しを行ったことによるものです。また消耗品費につきましては、当初予算額40,000円が、既存品で足りた為計上なしとなっております。

以上が、実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

続きまして、団体番号27はつが野街づくり推進委員会でございます。事業の内容といたしましては、はつが野校区では和泉市に転入して日の浅い住民が多い地区ですが、その一方住民同士のつながりが希薄になりがちな現状に対し、住民同士のつながり、子どもと地域とのつながりを強固なものとするを目的として、地域が一体となれるイベントを実施いたしました。事業の成果といたしまして、多彩なゲームブースや飲食ブース、踊りや演奏などのイベントの活動を一緒に楽しむことで親睦を深め、連帯感を養うことができ、様々な世代間の交流やお互いに助け合う土壌づくりができたといった内容の実績報告が提出されております。

続きまして、収支決算内容についてご説明させていただきます。

まず、収入の部でございますが、当初予算額の収入1,673,333円に対し、決算額は1,672,996円となっております、概ね予算どおりに執行されています。

次に支出の部をご説明させていただきます。主に変更のあった内容を中心にご説明させていただきます。まずに報償費につきまして、当初予算額55,000円に対し、決算額が40,000円、消耗品費が予算額520,000円に対し489,166円となっております、概ね予算どおりに執行されております。次に、印刷製本費につきまして、65,000円に対し17,715円となっております、47,285円の減額となっております。減額の内容といたしましては、委託先を安価なところに変更したことによるも

のです。次に、役務費につきまして、予算額52,000円に対し決算額7,813円となっており、44,187円の減額となっております。減額の理由といたしましては、通信販売などを利用する際はまとめて購入するなどし、商品発送の手数料等を節約したことによるものです。次に、使用料及び貸借料につきまして、予算額420,000円に対し決算額455,760円、また食料費につきまして予算額25,000円に対し決算額28,080円、また、委託料につきまして、予算額220,000円に対し決算額214,920円となっており、概ね予算どおりに執行されております。次に対象外経費の合計につきまして、予算額316,333円に対し決算額419,542円となっており、概ね予算どおりに執行されています。

以上が実績報告の内容でございますが、事務局におきまして、領収書並びに関係書類を精査した結果、適正に執行されているものと判断しております。

以上、実績報告の提出がありました5団体の概要でございます。

これをもちまして、実績報告のありました5団体について説明を終わらせていただきたいと思います。

【会長】

ありがとうございます。それでは報告のありました5団体について、1団体ずつ、審査させていただきます。まず団体番号2番について、質問、ご意見などございましたらお願いします。

【委員】

こちら、支援希望額500,000円であったところが、届出の結果残念なことに半減してしまっていますが、その分チケット売り上げでカバーされています。実績を見ますと、629名参加されています。これは弥生の風ホールの95%が埋まっているということになり、すごいことです。年々来場者が増加してきており、支援制度の効果が出てきていると感じております。

【事務局】

ミータスコア・グループ未来からは、もっと沢山の来場者を目指している、来年度は更に宣伝に力を入れるとのお話をいただいています。

【副会長】

では、団体番号2番については、支援金額を認めるということによろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【副会長】

それでは認めることとします。

それでは、団体番号3番について、質問・ご意見などございましたらお願いいたします。

(異議なしの声)

【副会長】

では、団体番号3番については、支援金額を認めるということによろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【副会長】

それでは認めることとします。

それでは、団体番号4番について、質問・ご意見などございましたらお願いいたします。

(異議なしの声)

【副会長】

はい。では、団体番号4番については、支援金額を認めるということによろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【副会長】

それでは認めることとします。

それでは、団体番号12番について、質問・ご意見などございましたらお願いいたします。

(異議なしの声)

【副会長】

はい。では、団体番号12番については、支援金額を認めるということによろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【副会長】

それでは認めることとします。

それでは、団体番号27番について、質問・ご意見などございましたらお願いいたします。

【委員】

これも、地域のお祭りということですが、町会・自治会の加入率が減ってきている昨今、こういう活動を継続していただくことで、地域のつながりが持続していくのは、ありがたいです。

【副会長】

こういうイベントで、町会・自治会の加入率が上がったということがあるのでしょうか。

【事務局】

イベントに参加されたいという方が加入されたというお話を聞いたことがあります。また、町会の活動がどういうものか全く知らないという方に、祭りの実行委員会に関わっていると説明するとどういったものかイメージしやすいそうです。町会自治会の活動の認知度を上げることに一役かっておられると思います。また、こういったイベントが、町会に加入されていない参加者に、町会加入の呼びかける場ともなっているとのことです。

【委員】

古くからある町は町会・自治会の加入率も高いのですが、新しい町の加入率は伸び悩んでいます。こういうイベントが加入率の向上につながる側面もあるかもしれないですね。

【委員】

ただお祭りをして楽しかったというだけで終わってしまうよりは、町会加入率などで具体的に示せたら、制度の効果を計る成果指標として市民の方にも理解していただきやすいですね。

【事務局】

町会・自治会加入率をこの制度の成果を計る指標とするということですね。

【副会長】

では、団体番号27番については、支援金額を認めるということによろしいでしょうか。

(異議なしの声)

【副会長】

それでは認めることとします。今回の判定会全体を通じて何かご意見はありますか？

【委員】

今回の審査対象の団体に限定せずにはいますと、だんじり祭り関係の団体がちょいずつに3団体参加しています。だんじりとは、もともとは自分たちのために行う祭りの側面が強く、観客をあまり意識していなかったのですが、実績報告を見ていると、だんたん人に見てもらおう祭りに変わってきていると感じます。和泉市の祭りの傾向も変わってきている、参加型という傾向が入ってきていると感じます。

【委員】

そうですね。他市と比べても、和泉市のだんじりは見せる祭りという意識があります。

【事務局】

興味がある人だけが参加するというイメージがあるのですが、今回の実績報告を見ましても、障がいのある方に観覧席を設けるなど、見てもらおう祭りとしての取り組みが感じられます。

【委員】

ただ、観客が増えると安全な運営との両立が難しくなりますので、そういった課題がありますね。

【事務局】

そうですね。

【副会長】

事務局は今回の意見を今後の参考としてください。

それでは最後に、次第4 その他事務連絡について、事務局よろしくお願いします。

【事務局】

平成28年度、29年度の今後のちよいずの事業スケジュールについて説明させていただきます。

まず、平成28年度から説明させていただきます。第4回判定会として本日、5団体を審査させていただきました。第5回目の実績報告が3月末を予定しています。残りは17団体ですのでよろしくお願いします。

次に平成29年度のスケジュールを説明させていただきます。2月1日から2月28日間は届出期間となり、2月の広報紙に団体紹介冊子や選択届出用紙を全戸配布させていただきます。3月下旬に選択届出の結果報告をさせていただきます。選択届出結果を公表した後、変更交付申請を受け付けさせていただきます、4月中旬頃、第1回判定会を開催し、変更交付申請等の審査を予定させていただいています。また、参加団体との意見交換会も開催する予定となっています。以上です。

【副会長】

はい。これにて本日の判定会を終了します。本日はお忙しい中出席いただきましてありがとうございます。次回の判定会の出席もよろしくお願いします。

本日はありがとうございました。